茅ヶ崎沖、2大スクープ!!

少ない海藻！そして、「おむつ」に続いて今度は大量のゴルフボール！今、茅ヶ崎の海で何が起きているのか？

↑茅ヶ崎の海底から引き上げられた188個ものゴルフボール。
岩に挟まったり、雪の吹きだまりのように集まったりして海底に沈む。　撮影:豊田直之

なぜ大量のゴルフボールが?!約1時間の潜水で188個も回収。

原因追求の必要がありますが、近隣のゴルフ場からの流出か、海岸から海に打ち込む不届きなゴルファーの仕業か、などと予想されています。

ゴルフボールは比重が大きく、波で海岸に打ち上げあられることなく、海底に沈み続けます。また、プラスチック物質であるので、今後の環境への影響が懸念されます。

現在、地元新聞社を通じて、海上保安庁や県警、自治体等へ事実確認を依頼しています。また、当NPOでは、さらに範囲を広げた潜水調査を行なう予定です。

この日、10名のダイバーが海底清掃に参加した。今後も、積極的に開催の予定だ。
撮影:本田秀一

まるで古戦場の墓標荒涼とした海底は、温暖化の影響か?

当NPO主催で、11月13日(日)、茅ヶ崎の海底ゴミ拾いと茅ヶ崎港陸上ゴミ拾いを行ないました。茅ヶ崎での活動は、相模川から海洋にどのようにゴミが流出しているのか、またそれらが海の生態系にどのような影響を与えているのか、ということの調査、研究も兼ねています。

茅ヶ崎港沖の平島周辺、えぼし岩周辺の海藻が非常に少なくなっていることの発見と、海底から188個ものゴルフボールを拾ったのが今回の成果です。

茎だけになったカジメやアラメなどの海藻が、古戦場の墓標のように立ち、周辺にあった背の低い海藻も消滅している状況に、背筋が凍る思いでした。

海藻、つまり『海の森』の消失は、海水の浄化のみならず、海洋生物たちの死活問題です。海藻を食べて生きるサザエが、食べられる部分が無くなった茎だけのカジメにしがみついている痛々しい姿が印象的でした。

温暖化による水温上昇で、海藻の生育が遅れているのか、アイゴなどの魚による食害なのか、または、生活排水による影響なのか……。
撮影:豊田直之

連載　其の四
不思議屋水族館

文／門島 昌美
写真／豊田 直之

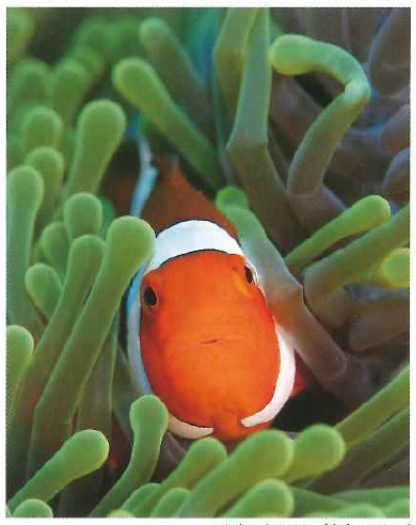
水源地の山を下り麓の街を蛇行しながら流れる古い川の河口近く、港に臨む場所に、そのカフェバーはある。店の巨大な水槽をへだてて、時に客は、人生を終えて海に還り海に生きる者たちと、会うことができる。

看板もない、ひっそりとしたこの店のことを、いつしか人は『不思議屋水族館』と呼ぶようになった。

いらっしゃいませ……3日と空けずにいらして……今夜こそもう、お帰りになられた方が……そうですか、わかりました。今夜だけ、ですよ。

「もう来ないよ」って言ったくせに、ったく、なにやってんのよぉ～?毎回毎回、泣いたり怒ったりふさぎ込んだり……1年もたつのよ、いいかげん、ワタシがいなくなったことに慣れてよね。

ワタシがいない話、いた頃の昔話……そんなのもう、聞き飽きたわ!そうやって、なんでもかんでもくらべちゃうから、今のこの現実を楽しめないのよ。過去とくらべてしまうから……だから、満足できないんじゃないの?他の人とくらべるから、自分のことを好きになれないのよ。でしょ?



カクレクマノミ（恋人のマリエ）

なんてね……こんなこと、ワタシこそ、そっちにいた頃に気がついていれば、あなたをあんなに責めて、大げんかしたまま別れることはなかったのにね。

未練?後悔?執着?……そんなの仕方がないじゃない、ワタシはもう、こっちにいるの。この幻想的な海で生きているのよ。恋人だっているわ。

ねぇ、生き物が生まれたり死んだりすることなんて、自分の力でどうにかなるもんじゃないでしょう。だったら、逃げちゃいけない。

忘れようとか、忘れないとか、もう考えないで。精いっぱい、この現実を楽しむの!泣かないでよ!ワタシたち魚には、泣いてもないのに、目の前は、いっだって涙の海よ、笑うしかないわ。

ワタシ、あなたが大好きだったわ、元気で幸せに生きてね。

お帰りですか……いってらっしゃい……またいつか、お越しください。

Close-up Supporter

クローズアップサポーター

株式会社大川印刷　代表取締役　社長
大川 哲郎さん

観音橋の隙間から大岡川をずっと見ていた小さな男の子。なかなか家に帰ろうとせず、母親はいつも困っていたそうだ。あれから50年弱。今はレストラン「アラ・コンタディーナ」の窓際の席から大岡川の流れや鳥を見るのが楽しい。大岡川を愛す1人として大岡川ニュースを応援しています。

この新聞制作にご支援いただいている方々

（順不同、敬称略）

五十嵐秀典（港南区）木野和江（東京都）福岡達也（中区）村田俊哉（磯子区）中野正樹（泉区）東郷新（東京都）福永秀樹（港北区）藤原圭子（中区）海老名季晴（港南区）林宏一（金沢区）濱西匠悟（富山県）工藤誠一（鶴見区）杉原善朗（中区）片山かなみ（戸塚区）野島和美（東京都）豊田有希（港北区）柴垣正弘（中郡）杉田淳（東京都）田渕正道（川崎市）小野寺健（青葉区）浅木克眞（中区）飛鳥田一朗（中区）天野直樹（都筑区）荒木彦次（磯子区）勝治雄（中区）菊嶋秀生（港南区）木津康博（西区）斎田順一（金沢区）地主道夫（戸塚区）清水良夫（中区）時久康信（港北区）仁平信哉（神奈川区）長谷川章範（戸塚区）安室伸一（港南区）山本宗男（中区）吉永昌生（神奈川区）渡邊俊郎（西区）渡邊正典（磯子区）井筒廣之（兵庫県）高橋淳（中区）太田篤胤（千葉県）塩谷あき子（東京都）百田仁（茨城県）藤井俊司（戸塚区）田中良篤（川崎市）林健児郎（座間市）桃井貴子（港南区）能勢直征（新潟県）堀田彌生子（瀬谷区）長井文枝（港北区）狩野英（川崎市）西川正道（藤沢市）中市秀人（富山県）長谷川英利（富山県）水流陽一（鶴見区）山本規子（神奈川区）濱口紀子（東京都）吉田節枝（中区）本所能子（港南区）金木伸浩（中郡）藤田滋（港南区）早川光二（戸塚区）袋秀平（港南区）渋谷健（南区）伊藤元二（南区）田野井伸泰（港南区）久野謙治（港南区）北林友雄（中区）杉島和三郎（中区）磯村八恵子（東京都）福島俊彦（緑区）大庭一郎（中区）深田聖子（川崎市）大島重信（中区）浅見哲子（中区）藤崎大四郎（鎌倉市）綿大志（千葉県）立瀬剛志（富山県）山口修（東京都）村上眞一郎（東京都）根門喜美子（磯子区）井上珠江（保土ヶ谷区）井上美樹（保土ヶ谷区）杉山修子（神奈川区）小林直樹（中区）角野渉（中区）中田圭一（保土ヶ谷区）五十嵐洋志（港北区）末松孝一（平塚市）関水正和（大和市）深田独（鎌倉市）高橋むつみ（神奈川区）生利悦造（大阪府）井筒昭（東京都）苅屋信幸（京都府）藤田健一（金沢区）真壁崇（川崎市）佐藤敏子（港北区）小坂研治（港北区）小坂亨子（港北区）柿澤寛（中区）早川弘子（戸塚区）市田宏志（千葉県）鶴若富夫（中区）藤原園子（藤沢市）阿部桃紅（東京都）神原宏之（港北区）豊田和子（港北区）夏柊佑（南区）臼井隆（横須賀市）内山栄一（愛甲郡）中島ちなみ（中区）加藤哲（港南区）美野恵津子（神奈川区）西井篤（保土ヶ谷区）西井梨花（保土ヶ谷区）阿部晴海（東京都）新村浩子（中区）門島昌美（東京都）瀧下広明（中区）本田秀一（港北区）豊田直之（港北区）大平馨（埼玉県）大平愛子（埼玉県）井筒和子（東京都）聖光学院中学校・高等学校、六本木マナメイ、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、有限会社登良屋、株式会社大貫カメラ、秋山眼科医院、株式会社横濱屋、株式会社勝烈庵、有限会社共栄商事不動産、医療法人秀晃会 馬車道レディスクリニック、株式会社大川印刷、TOTO株式会社、公益財団法人イオン環境財団

新聞サポーター&スポンサー募集

『Oh!Okagawa News（年4回、各回3,000部発行）』では、新聞サポーター（500円×4号＝2,000円の寄付）を募集しています。サポーターの皆様には、氏名を掲載させていただき『Oh!Okagawa News』を1年間毎回1部郵送いたします。

また、広告スポンサーも募集中です。

詳細については
『NPO法人 海の森・山の森事務局』
info@uminomori-yamanomori.com
までお問い合わせください。

『よこはま夢ファンド』

NPOの活動を応援して、税金対策しませんか?

横浜市が運営する、寄付金から2,000円の手数料を除く全額が所得税控除となる『ふるさと納税』と同じ制度。寄附される際に「希望する団体」に当NPOの名を記載いただくと、当NPOは助成申請し、市の厳しい審査を受け、承認されるとその金額分の助成を受けられます。寄附された方は所得税控除、企業の場合は損金計上、そんなメリットのある応援をぜひお考えください。

お問い合わせ先:当NPO、または横浜市市民局市民活動支援課(045-227-7965)
検索「よこはま夢ファンド」

Information 事務局からのお知らせ

●大岡川PGT大作戦（リバークリーン）
実施予定　1/21（土）、2/18（土）、3/25（土）。各回10時から桜橋（京急・日ノ出町駅から徒歩4分）にて。11時半頃解散予定。手ぶらでいらしてください。

●大岡川源流域探索ツアー
実施予定　1/29（日）、2/26（日）。9時半に京急・上大岡駅バスターミナル集合。バスにて氷取沢まで行き、源流域を散策します。参加費は無料ですが、保険等の実費分500円が必要です。また事前に保険登録の手続きを行ないますので、お申し込みをお願いします。

●かながわの滝探検ツアー
実施予定　1/14（土）、2/5（日）、3/12（日）。8時に横浜駅東口集合。コースは西丹沢、南足柄市、相模原市の3コースあります。必ずお申し込みが必要です。参加費等、詳しくは、http://www.taki-tour.jimdo.com/
お申し込み、お問い合わせは
toyo-da@nifty.com まで。お願いします。

NPO法人 海の森・山の森 事務局

印刷事業において発生するCO2全てをカーボンオフセット（相殺）した「CO2 ゼロ印刷」で印刷しています。また印刷会社はノンVOCインキ（石油系溶剤0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場です。
VOC FREE　リサイクル適性Ⓐ　この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。　GP GREEN PRINTING P-S10164